

産業廃棄物処理計画書

令和6年5月30日

神奈川県知事 殿

提出者

住 所

東京都渋谷区渋谷1-16-14

氏 名

東急建設株式会社 東日本建築支店
執行役員支店長 安藝 実

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号

03-5466-5943

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	東急建設(株) 東日本建築支店			自主管理事業登録番号
				(2915)
事業場の所在地	東京都渋谷区渋谷一丁目16番14号 (横浜、川崎、相模原、横須賀市を除く神奈川県内の作業所より排出の廃棄物が対象)			TEL(連絡先):
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年間)			
当該事業場に関する事項				
① 事業の種類	Dー建設業		(具体的には)	06:総合工事業
② 事業の規模	製造業	製造品出荷額		百万円
	建設業	エリア内元請完成工事高	1,682	百万円
	医療機関	病床数		床
	その他の業種	売上高		百万円
	(上記項目に該当しない場合にはこちらに記載をしてください。)			
③ 従業員数	234			
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	・産業廃棄物発生フロー (別表ー1) 参照 ・処理等工程図 (別表ー2) 参照			
※ 産業廃棄物の種類ごとに記入				

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

建設副産物対策管理組織図 (別表-3)

- ・作業所は、廃棄物責任者(作業所長又は常駐する上位の社員とする)を定め、建設副産物の発生抑制、再使用、再資源化及び適正処理に関する業務を行う。
- ・現業部門社員を対象とし、昇格に伴う年次研修にて「建設副産物の減量及び適正処理に関する教育」を実施している。(研修内容)・経営上の方針、計画、目標について・適正な分別、保管について・ルール及び社員の役割について・関係法令の概要について

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度(令和 5 年度)実績】		
	産業廃棄物の種類数	10	種類
	① 排出量	1,255.5	t
② 計画	【(令和 6 年度)目標】		
	産業廃棄物の種類数	5	種類
	① 排出量	1,350.0	t

* 種類ごとの前年度排出量は、別紙のとおり。

(これまでに実施した取組)

・各支店、事業部にて廃棄物量削減目標を設定し、以下の項目を実施(プレハブ化、ユニット化、パネル化、プレカット化等の推進)(鋼製型枠・樹脂型枠、デッキプレート等の使用)(分別の徹底による有価物の売却等)(広域認定、再生利用指定制度の積極活用)(新規サイクルートの開拓)

(今後実施する予定の取組)

・メーカーサイクルである広域認定制度の利用促進
 ・建設資材等の納入事業者を含めた排出抑制の取組み推進(納入時の荷姿、梱包材の簡略化)
 (可能な限り工場加工をし、作業所での端材の発生抑制)

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	
	・重点分別品目の設定(金属くず、木くず、ダンボール、廃プラスチック類、紙くず、コンガラ、石膏ボード、塩ビ、その他がれき類、ガラスくず及び陶磁器くず)等を設定して分別している。	
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	
	・廃棄物分別ヤードを出来る限り拡大し、品目を増やし分別に努める。 ・廃棄物に関する教育(混合廃棄物の再分別デモの実施等)を実施し、分別意識の向上を図る。	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度(令和 5 年度)実績】		
	②+⑧ 自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0	t * 種類ごとの前年度自ら再生利用量は、別紙のとおり。
	(これまでに実施した取組)		
	・設計、施工条件が合えば、汚泥・がれき類の再生利用を行っている。		
② 計画	【(令和 6 年度)目標】		
	②+⑧ 自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0	t * 種類ごとの本年度自ら再生利用量は、別紙のとおり。
	(今後実施する予定の取組)		
	・設計、施工条件が合えば、汚泥・がれき類の再生利用を実施する。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度(令和 5 年度)実績】		
	⑤ 自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0	t * 種類ごとの前年度自ら熱回収を行った量は、別紙のとおり。
	⑦ 自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0	t * 種類ごとの前年度自ら中間処理により減量した量は、別紙のとおり。
	(これまでに実施した取組)		
	・これまでに、自社で中間処理を行ったことはない。		
② 計画	【(令和 6 年度)目標】		
	⑤ 自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0	t * 種類ごとの本年度自ら熱回収を行う量は、別紙のとおり。
	⑦ 自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0	t * 種類ごとの本年度自ら中間処理により減量する量は、別紙のとおり。
	(今後実施する予定の取組)		
	・今後も、自社で中間処理を行う予定はない。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度(令和 5 年度)実績】			
	③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0	t	* 種類ごとの前年度自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量は、別紙のとおり。
	(これまでに実施した取組)			
	・これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。			
② 計画	【(令和 6 年度)目標】			
	③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0	t	* 種類ごとの本年度自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う量は、別紙のとおり。
	(今後実施する予定の取組)			
	・今後も、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行う予定はない。			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度(令和 5 年度)実績】			
	⑩ 全処理委託量	1,255.5	t	* 種類ごとの前年度処理委託量は、別紙のとおり。
	⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	793.0	t	
	⑫ 再生利用業者への処理委託量	1,255.5	t	
	⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0	t	
	⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	t	
	(これまでに実施した取組)			
・優良認定処理業者の積極活用。 ・電子委託契約の導入 ・計画的処分場視察 の実施				

② 計画	【(令和 6 年度)目標】			* 種類ごとの本年度処理委託量は、別紙のとおり。
	⑩ 全処理委託量	1,350.0	t	
	⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	150.0	t	
	⑫ 再生利用業者への処理委託量	1,350.0	t	
	⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0	t	
	⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0	t	
	(今後実施する予定の取組)			
・優良認定処理業者の積極活用 ・電子委託契約の普及				
※ 事務処理欄				

備考

- 1 この様式は、前年度(令和5年度)の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成し、提出してください。

また、前年度(令和5年度)の産業廃棄物の発生量が1,000トン未満の事業場にあつては、神奈川県・横浜市・川崎市・相模原市・横須賀市が推進する廃棄物自主管理事業へ参加するにあたり、事業場ごとに1枚作成し、提出してください。
- 2 当該年度(令和6年度)の6月30日までに提出してください。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入してください。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類(中分類)の区分を記入してください。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入してください。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入してください。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入してください。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入してください。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付してください。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入してください。
- 7 第5面の※欄には、何も記入しないでください。

産業廃棄物処理計画書

2-2

法定

自主

○

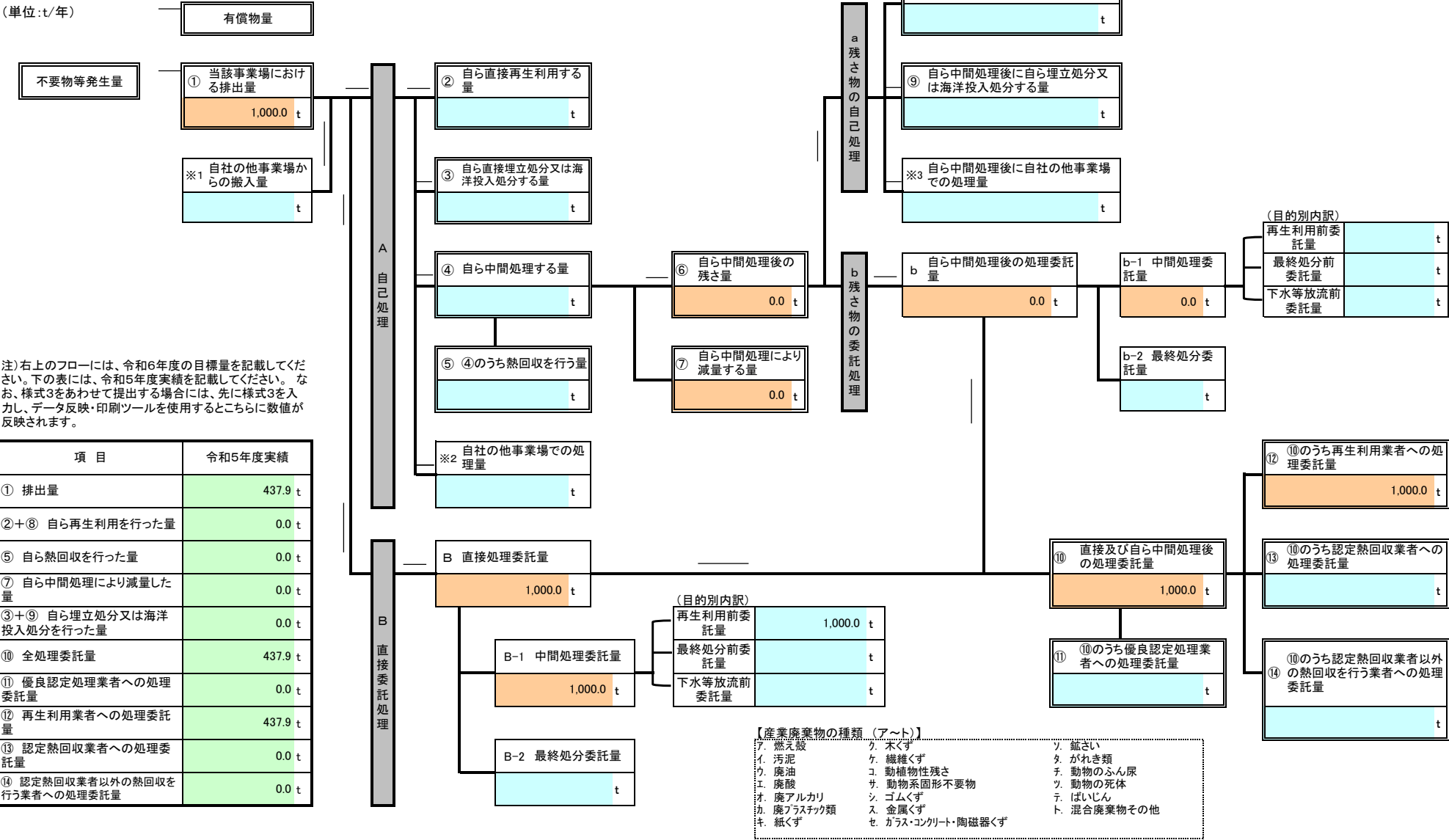
別紙処理フロー

令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類	イ. 汚泥
------------------	-------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



産業廃棄物処理計画書

2-2

法定

自主

○

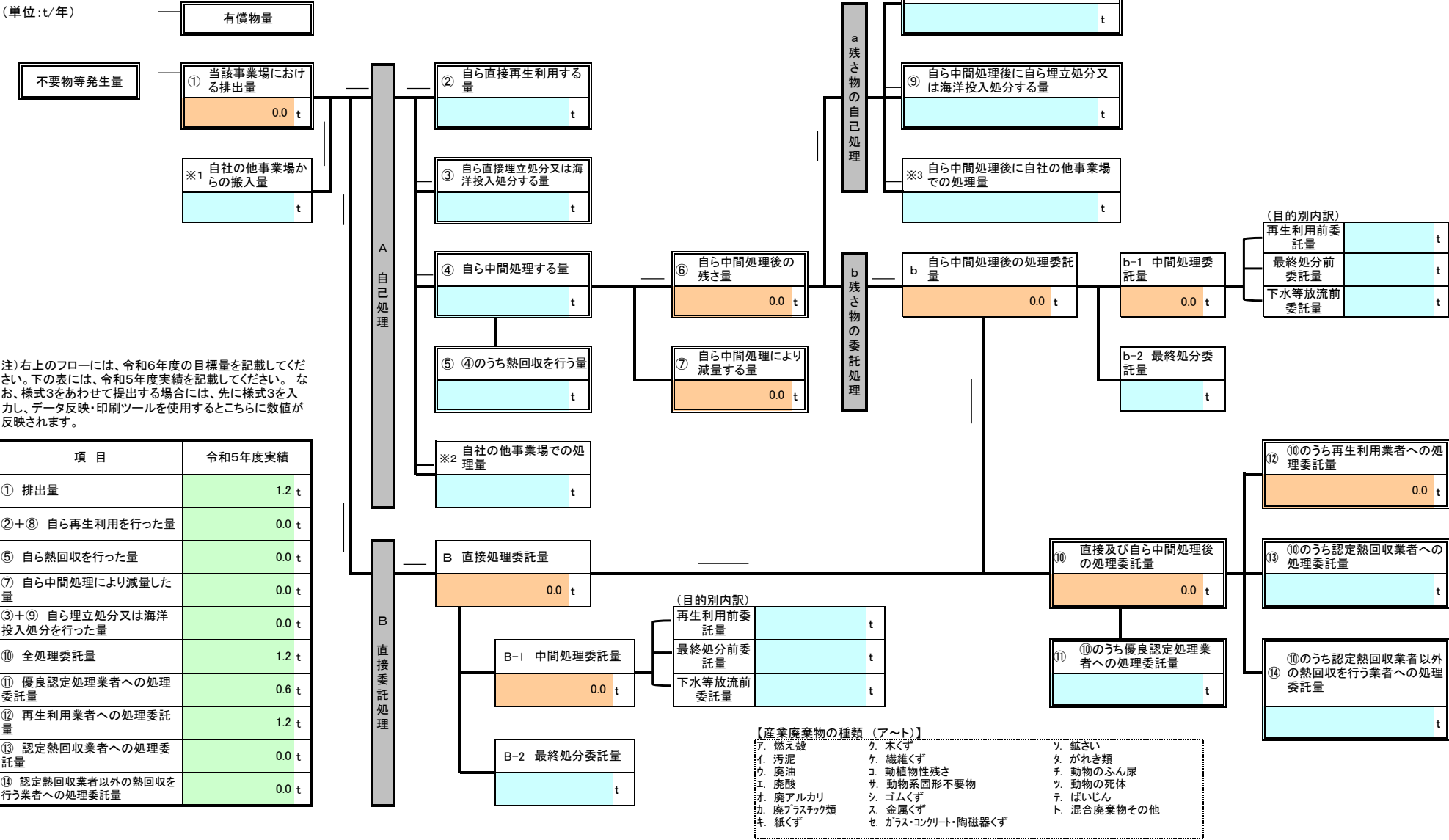
別紙処理フロー

令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類	オ. 廃アルカリ
------------------	----------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



2-2	法定	自主
	○	

産業廃棄物処理計画書

2-2

法定

自主

○

別紙処理フロー

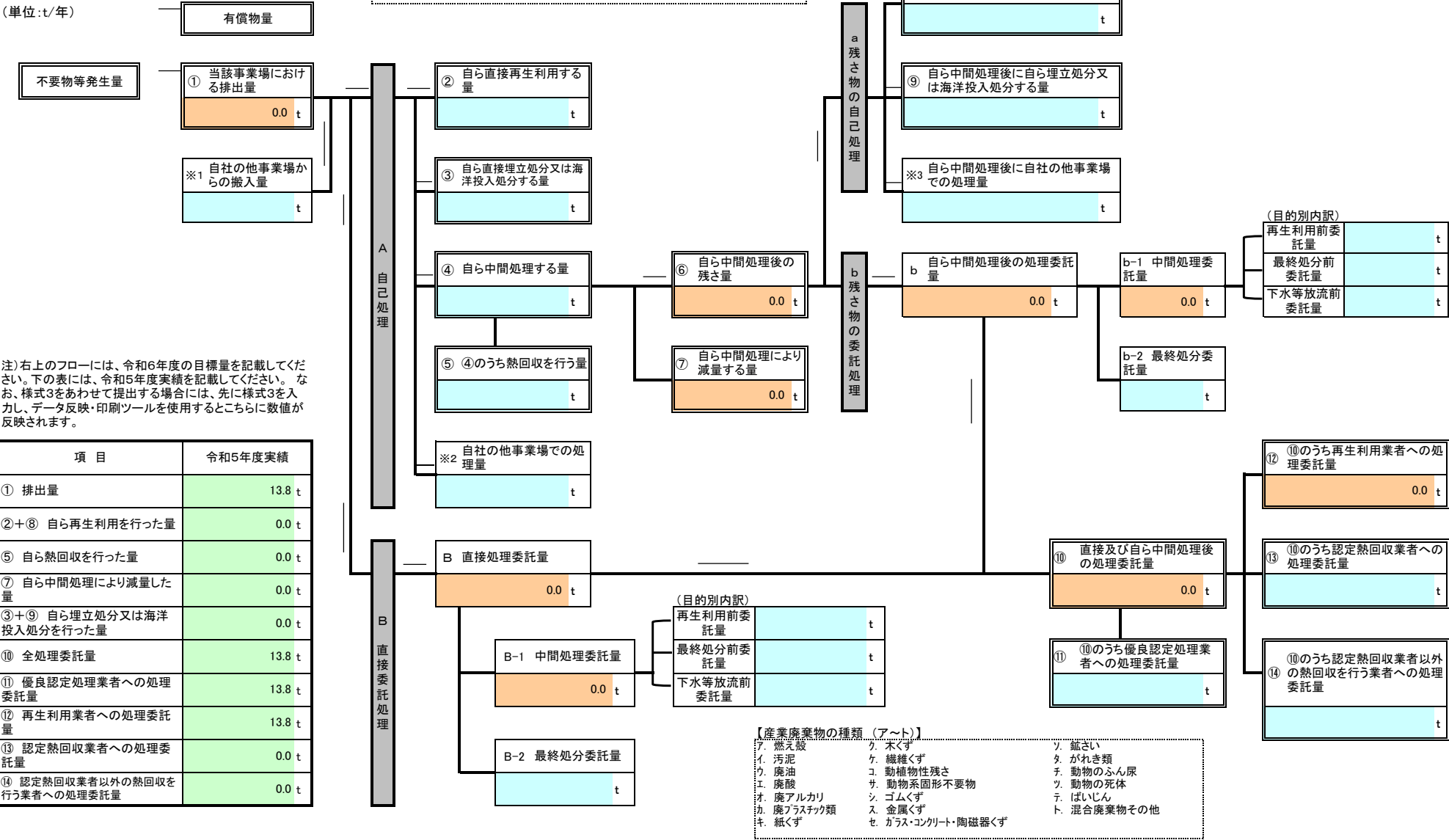
事業場名称 : 東急建設(株) 東日本建築支店

令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類	キ、紙くず
------------------	-------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



ア	燃え殻	ク	木くず	ツ	鋸ざい
イ	汚泥	ク	繊維くず	タ	がれき類
ロ	廃油	コ	動植物性残さ	チ	動物のふん尿
エ	尿酸	サ	動物系固形不要物	ト	動物の死体
オ	廃アルカリ	シ	ゴムくず	テ	ばいじん
カ	廃プラスチック類	ス	金属くず	ト	混合廃棄物その他
キ	紙くず	セ	ガラス・コンクリート・陶磁器くず		

産業廃棄物処理計画書

2-2

法定

自主

○

別紙処理フロー

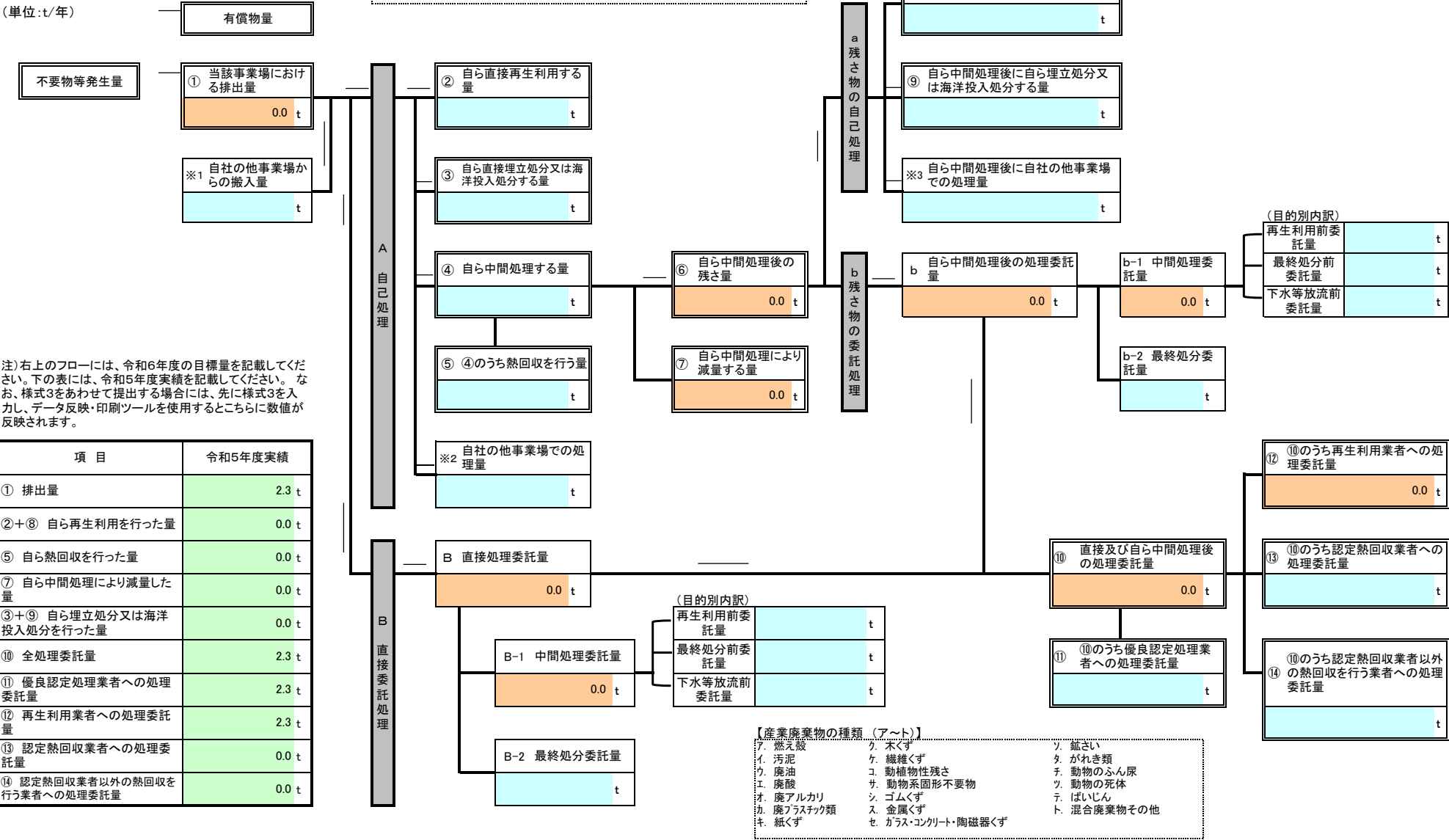
事業場名称 : 東急建設(株) 東日本建築支店

令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類	ケ. 繊維くず
------------------	---------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



注) 右上のフローには、令和6年度の目標量を記載してください。下の表には、令和5年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和5年度実績
① 排出量	2.3 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	2.3 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	2.3 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	2.3 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

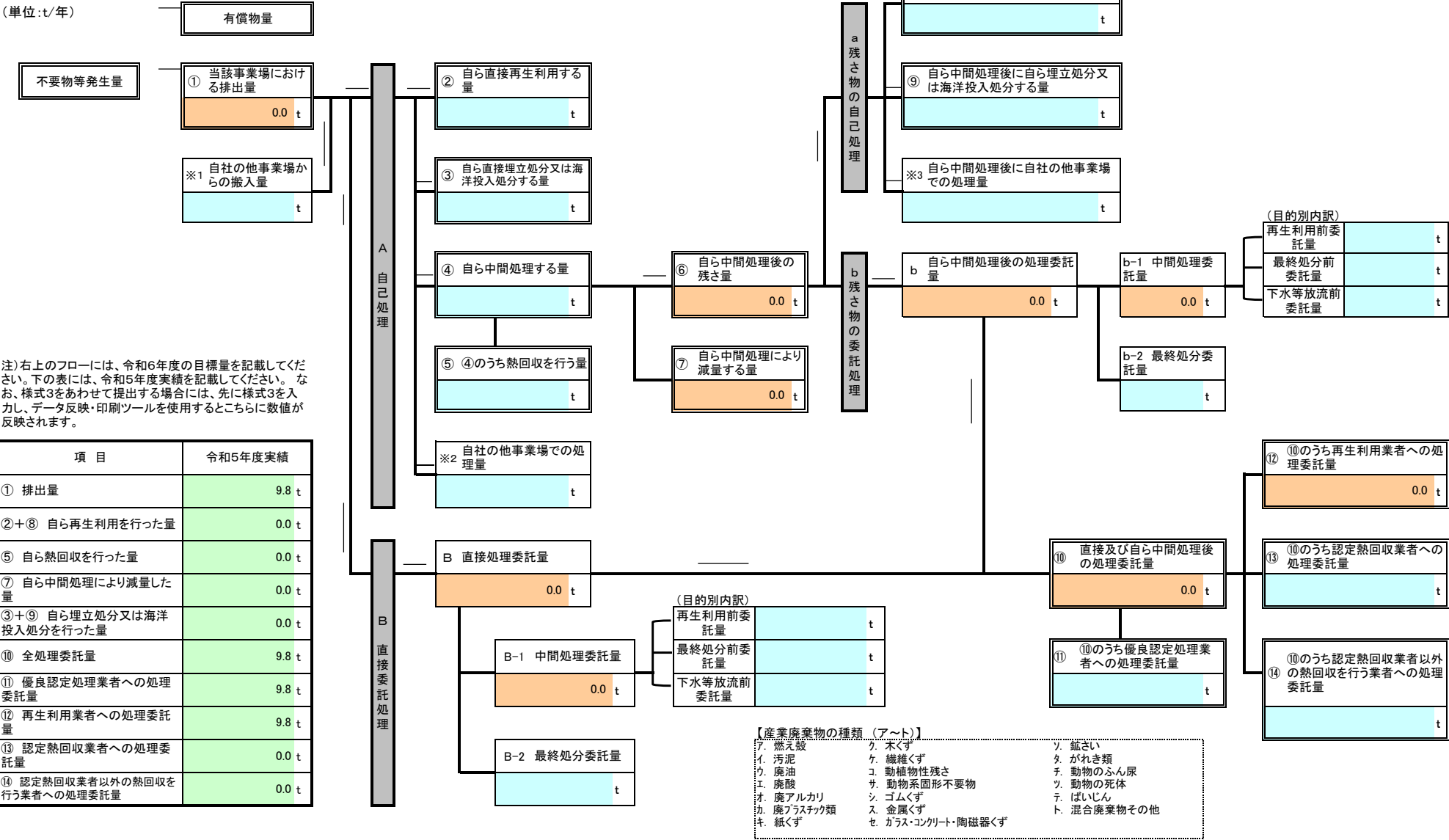
別紙処理フロー

令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類	ス、金属くず
------------------	--------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



注) 右上のフローには、令和6年度の目標量を記載してください。下の表には、令和5年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和5年度実績
① 排出量	9.8 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	9.8 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	9.8 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	9.8 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

産業廃棄物処理計画書

2-2	法定 ○	自主
-----	---------	----

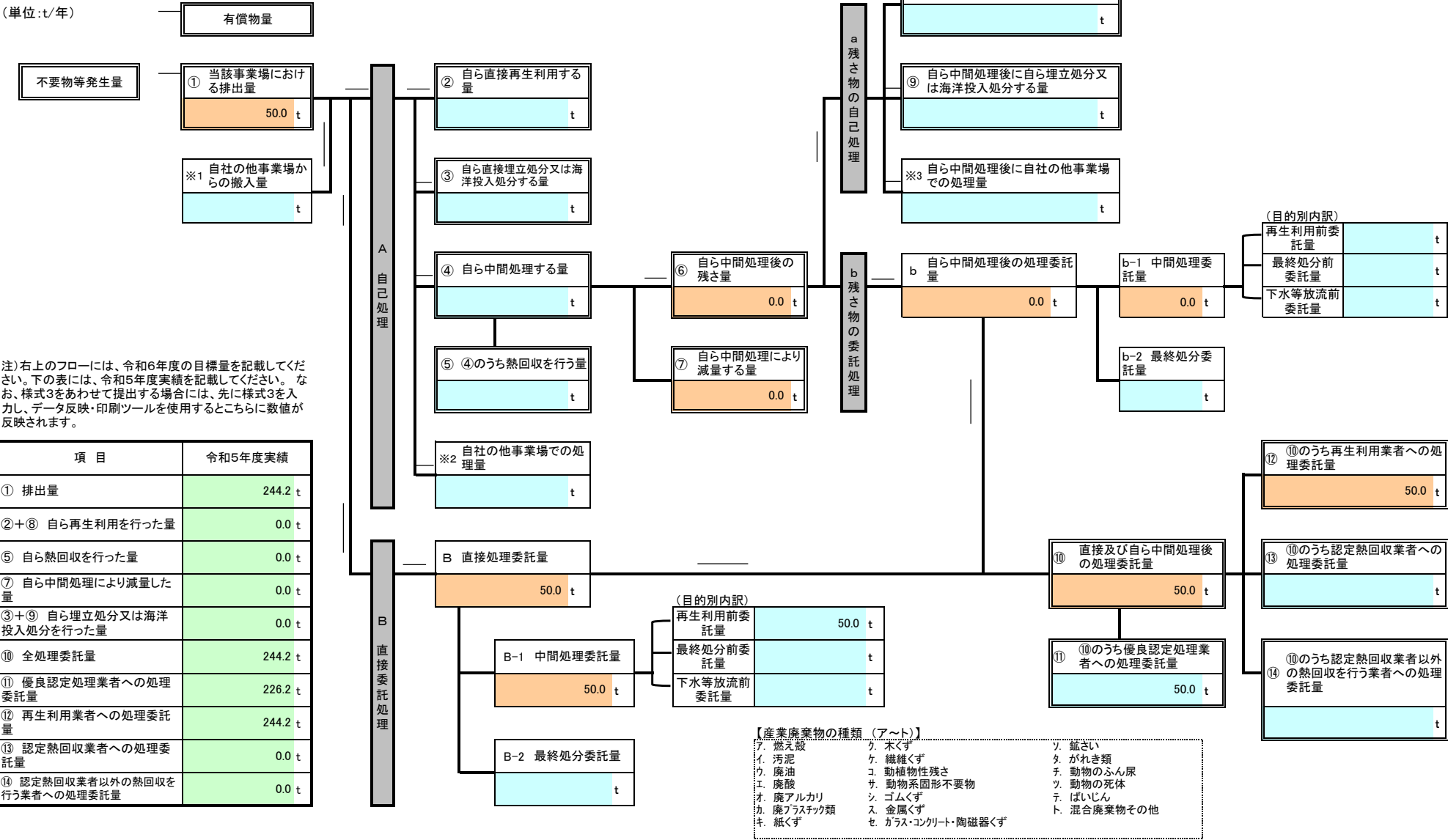
別紙処理フロー

令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類	セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
------------------	---------------------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



産業廃棄物処理計画書

2-2

法定

自主

○

別紙処理フロー

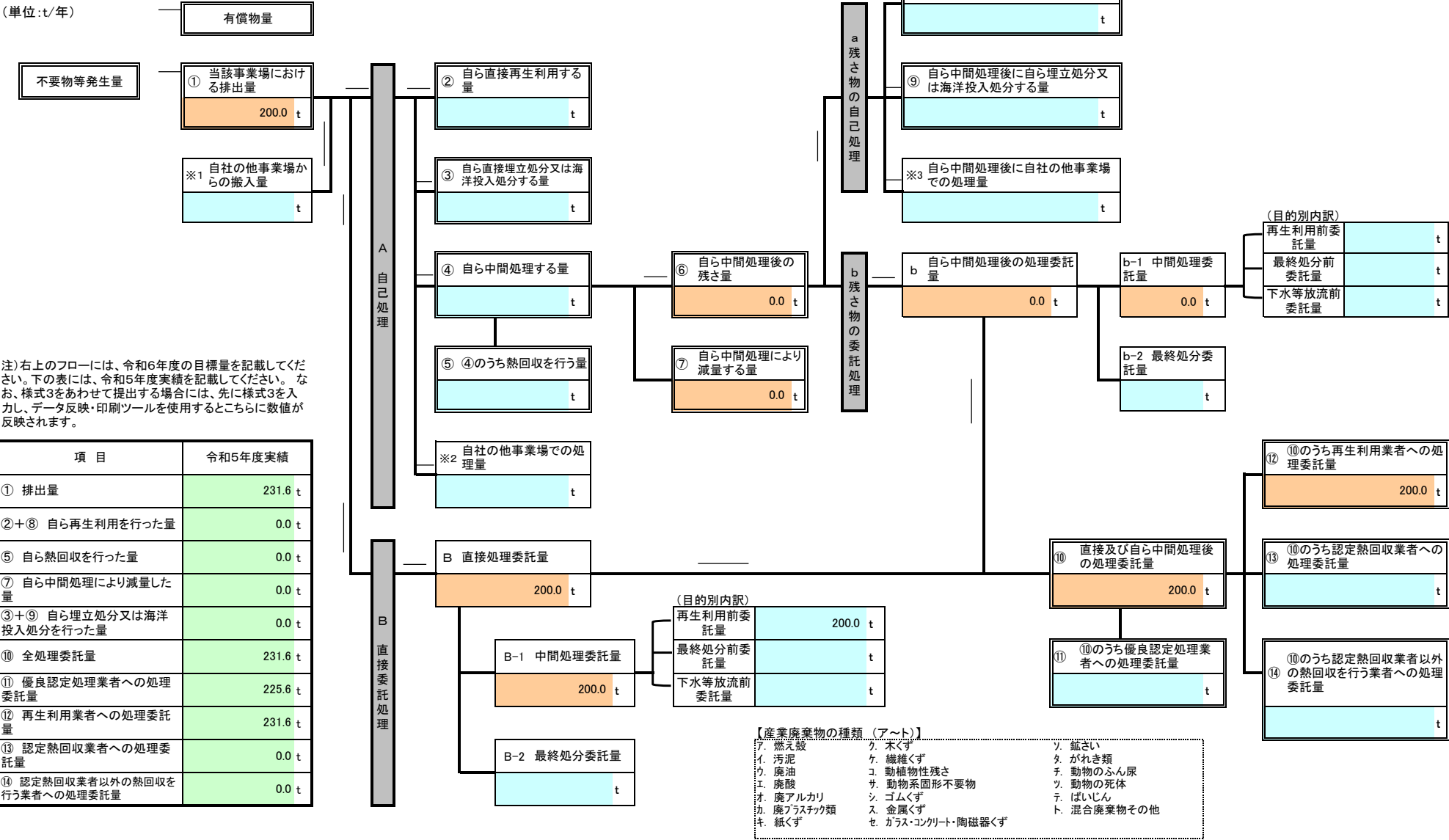
事業場名称 : 東急建設(株) 東日本建築支店

令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類	タ. がれき類
------------------	---------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



産業廃棄物処理計画書

2-2

法定

自主

○

事業場名称 : 東急建設(株) 東日本建築支店

別紙処理フロー

令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類

ト、混合廃棄物その他

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)

有償物量

不要物等発生量

① 当該事業場における排出量

0.0 t

※1 自社の他事業場からの搬入量

t

② 自ら直接再生利用する量

t

③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分する量

t

④ 自ら中間処理する量

t

⑤ ④のうち熱回収を行う量

t

※2 自社の他事業場での処理量

t

⑥ 自ら中間処理後の残さ量

0.0 t

⑦ 自ら中間処理により減量する量

0.0 t

a 残さ物の自己処理

⑧ 自ら中間処理後に再生利用する量

t

⑨ 自ら中間処理後に自ら埋立処分又は海洋投入処分する量

t

※3 自ら中間処理後に自社の他事業場での処理量

t

b 自ら中間処理後の処理委託量

0.0 t

b 残さ物の委託処理

b-1 中間処理委託量

0.0 t

b-2 最終処分委託量

t

(目的別内訳)

再生利用前委託量

t

最終処分前委託量

t

下水等放流前委託量

t

注) 右上のフローには、令和6年度の目標量を記載してください。下の表には、令和5年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和5年度実績
① 排出量	8.6 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	8.6 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	8.6 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	8.6 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

B 直接処理委託量

0.0 t

B 直接委託処理

B-1 中間処理委託量

0.0 t

B-2 最終処分委託量

t

(目的別内訳)

再生利用前委託量

t

最終処分前委託量

t

下水等放流前委託量

t

⑩ 直接及び自ら中間処理後の処理委託量

0.0 t

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

t

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

0.0 t

⑬ ⑩のうち認定熱回収業者への処理委託量

t

⑭ ⑩のうち認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

t

【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】

ア. 燃え殻	カ. 木くず	リ. 鋸さい
イ. 汚泥	ケ. 繊維くず	タ. がれき類
ウ. 廃油	ク. 動植物性残さ	チ. 動物のふん尿
エ. 廃酸	サ. 動物系固形不要物	ツ. 動物の死体
オ. 廃アルカリ	シ. ゴムくず	テ. はいじん
カ. 廃プラスチック類	ス. 金属くず	ト. 混合廃棄物その他
キ. 紙くず	セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず	

別紙一括表

(単位:トン)

[illegible]